

科目名	色彩表現研究		Subject	Color Expression Research
サブタイトル	配色計画やイメージ表現などの研究と作品制作、および社会環境や企業における色彩の研究			
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」	
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術	社会実装
2 年	後期	必修		
授業形態	単位	時間		
演習	4 単位	60 時間	◎	
ゲストスピーカー招聘回		なし		
教員名	栗本 佳典		メールアドレス	yoshinori.kurimoto@・・・
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】			
実践的教育	×			
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。			

科目の概要								
美容をはじめデザイン等さまざまな仕事で必要となる、色彩の基礎理論の確認から応用までを学びながら多様な色彩表現について研究します。配色計画やイメージ表現、色彩構成などについてカラーカードやポスターカラーを用いて、色で表現する視点から作品制作を行います。また、社会環境や企業における色彩の考え方や役割を理解し、景観と色彩、色彩事情、色彩設計などについて研究します。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
美容芸術	色彩の理論を理解して自分なりの色彩表現ができる。また、社会環境や企業における色彩の役割を理解し応用することができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	日本伝統色・色名辞典/日本色研事業株式会社、色名小辞典/日本色研事業株式会社							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	-	-	80%	20%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
時間外学習としては予習復習に限らず、テレビやネットでの色彩に関連する内容の閲覧時間も含む。								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	色彩基礎理論の確認① 用語の確認	色彩の基礎用語の確認を行い、それらを説明することができる。	さまざまな色彩用語について調べ資料を作成する。	240 分
第 2 回	色彩基礎理論の確認② 理論の確認	色彩の基礎理論やカラーシステムの確認を行い、それらを説明することができる。	前回の続き	240 分
第 3 回	色名の成立① 歴史と色名	古代から現代までのさまざまな色名を認識し説明できる。	さまざまな歴史や文化における色彩について調べ資料を作成する。	240 分
第 4 回	色名の成立② 文化と色名	さまざまな文化における色名の成立について認識し説明できる。	前回の続き	240 分
第 5 回	色名の作成① 色の作成	絵の具等でさまざまな色を作り出して、異なる色名を作成することができる。	新しい現代の色名について調べ資料を作成する。	240 分
第 6 回	色名の作成② オリジナル色名作成	自分なりの考えで新たな色名を作成することができる。	前回の続き	240 分
第 7 回	配色技法① 技法解説	さまざまな配色技法の特徴について説明することができる。	展覧会やコンサートなどのチラシやネット情報をたくさん集め、どのように配色技法が使用されているか研究する。	240 分
第 8 回	配色技法② 配色作成	さまざまな配色技法を用いて配色表を作成することができる。	前回の続き	240 分
第 9 回	イメージ色彩表現① 色とイメージ	色とイメージの関係を知り、色彩イメージの効果について説明することができる。	展覧会やコンサートなどのチラシやネット情報をたくさん集め、どのようにイメージが色彩表現されているか研究する。	240 分
第 10 回	イメージ色彩表現② 色彩イメージと演出	色とイメージの関係を利用し、色彩イメージの効果的な演出力を高め表現することができる。	前回の続き	240 分
第 11 回	色彩構成① 基礎理論	色彩構成の基礎理論や方法について説明することができる。	色彩構成の方法にはどのようなものがあるかを調べてまとめる。	240 分
第 12 回	色彩構成② テーマの選定	色彩構成を想定してテーマを選定することができる。	前回の続き	240 分
第 13 回	色彩構成③ 画面構成	テーマに基づいて画面構成を複数試作して、候補を決定することができる。	展覧会やコンサートなどのチラシやネット情報をたくさん集め、どのような色彩構成があるか分析する。	240 分
第 14 回	色彩構成④ 配色計画	画面構成を考えながら、配色の計画を立てることができる。	前回の続き	240 分
第 15 回	色彩構成⑤ 色面の作成	配色計画に基づいて、それぞれの色面を作成することができる。	展覧会やコンサートなどのチラシやネット情報を基に、どのように色彩構成が応用されているか研究する。	240 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 16 回	色彩構成⑥ 色面の完成	画面構成全体を考えながら、それぞれの色面を作成し作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 17 回	コーポレートカラー① コーポレートアイデンティティとデザイン	コーポレートアイデンティティとデザインとの関係や役割について説明することができる。	さまざまな会社のコーポレートアイデンティティについて研究する。	240 分
第 18 回	コーポレートカラー② コーポレートデザインと色彩	コーポレートデザインと色彩との関係や役割について説明することができる。	さまざまな会社のコーポレートデザインについて研究する。	240 分
第 19 回	コーポレートカラー研究① コーポレートカラーと戦略	現在の企業が打ち出しているコーポレートカラーについて調べ、戦略等について述べるができる。	さまざまな会社のコーポレートカラーについて研究する。	240 分
第 20 回	コーポレートカラー研究② プレゼンテーション	現在の企業が打ち出しているコーポレートカラーの戦略等について比較して論じることができる。	前回の続き	240 分
第 21 回	環境と色彩① 公共空間と色彩	公共空間における色彩の現状や役割について説明することができる。	環境の違いによる色彩の役割や色彩計画について研究する。	240 分
第 22 回	環境と色彩② 景観形成と色彩計画	景観形成における色彩の役割や色彩計画の実施方法について説明することができる。	前回の続き	240 分
第 23 回	セルフポスター作成① テーマ設定	ポスター作成に向けてテーマを設定し、完成までの計画を立てることができる。	さまざまなポスターのテーマ設定の方法について研究する。	240 分
第 24 回	セルフポスター作成② ストーリー展開の設定	ポスターの内容に関わるストーリー等を設定し、デザインと関係づけることができる。	前回の続き	240 分
第 25 回	セルフポスター作成③ 写真撮影と画面構成	ポスターを構成する写真や色彩、文字について計画し、作成することができる。	写真や色彩の構成方法を意識して、ポスター資料をたくさん集める。	240 分
第 26 回	セルフポスター作成④ 色彩バランス	計画を振り返り、画面全体の色彩バランスを調整しながら作成することができる。	前回の続き	240 分
第 27 回	セルフポスター作成⑤ 色彩バランスと文字	計画を振り返りながら、画面全体の色彩や文字のバランスを調整しながら作成することができる。	収集したポスターを基に写真や色彩の構成方法について研究する。	240 分
第 28 回	セルフポスター作成⑥ 作品完成	画面全体を調整しながら完成させ、作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 29 回	セルフポスター作成⑦ 相互講評	相互講評により他者の作品の特徴や考え方を比較し評価することができる。	前回の続き	240 分
第 30 回	プレゼンテーション	色彩表現研究で作成した作品をふり振り返り発表することにより、色彩や構成による表現の特性を解説できる。	色彩表現研究で作成した作品の振り返りとまとめ	240 分